

令和7年度第三者評価 改善状況報告書

令和 8年 5月 27日

施設名	港区立 芝浦アイランドこども園	施設所管課	港区芝浦港南地区総合支所 管理課
所在地	港区芝浦4-20-1	指定管理者	公益財団法人 東京YMCA

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和8年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和8年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
保育プロセスの可視化推進：ドキュメンテーション等の質を向上させ、活動の「ねらい」や「子どもの育ち」がより伝わる発信を行う。		コドモンを使ったドキュメンテーションの質の向上を目指し、園内研修を行ったことで、効果的な配信をすること繋がった。	写真を付けたドキュメンテーションを毎日配信している。今後は、各クラスの活動が一目で見れるように、1階フロント前の柱に全クラスのドキュメンテーションを掲示をしていくことを習慣化する。	日常的に写真付きドキュメンテーションを配信し全クラスの活動を把握できるようにする点は、保育活動の可視化と保護者理解の促進に資する取組として期待できる。所管課としては掲示や配信に当たり、単なる活動の記録にとどまらず各活動の「ねらい」や子どもの成長・変化の過程が具体的に読み取れるよう、さらなる記述内容や構成の工夫に努めるよう指導していく。
キャリアパスの明確化：若手職員が将来の見通しを持って働けるよう、個々の成長段階に応じたキャリア形成プランを策定し、面談等でサポートする。		評価制度を導入して、年度末に評価面接を行った。個人の課題にどう取り組んだのか、管理職と共に解決策を探っていくことで、若手保育者のやる気を引き出した。	若手だけではなく、リーダー職、サブリーダー職、若手とそれぞれの立場で主体的に業務に関わっていくことで、職員間の協力体制を強化していく。その為に、職員一人一人の課題と役割を本人の意向も踏まえて明確にしていくことが必要だと考えるため、目標シート等を活用し、達成具合を見える化していく。	職層に応じたそれぞれの立場で業務に関わっていく、職員体制を強化する取組は若手職員のキャリア形成に効果が期待できる。一方で、キャリアパスの明確化の観点からは、育成段階や目標設定、支援方法を具体的に整理し、面談等を通じた体系的な取組が求められると考える。
地域ニーズの調査と還元：地域の子育て世帯の現状を把握し、園の専門性を活かした効果的な支援プログラムを立案・実施する。		保幼少連携交流で地域の保育施設との交流が深まり、地域の課題などを話し合うことができた。次年度以降も引き続き取り組んでいく。	地域の児童館や保育施設と連携して、子育て家庭にとって必要な支援を企画して、子育て支援講座や地域の方が参加できるプログラムを増やしていく。	地域関係機関と連携したプログラムは子育て支援の充実に有効であると考えられる。一方で、地域ニーズの把握と事業への反映については更なる具体化が必要である。今後は、園の専門性を活かした支援内容の充実と、効果検証を踏まえた継続的な改善を期待する。